

令和5年度

総会資料

チャレンジいばらき県民運動

令和5年度総会次第

日時 令和5年5月25日（木）13：30～

場所 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館
コミュニティホール

1 開 会

2 理事長あいさつ

3 知事あいさつ

4 議 事

報告第1号 規約第12条第1項の規定に基づく専決処分について

第1号議案 令和4年度事業報告

第2号議案 令和4年度歳入歳出決算報告及び監査報告

第3号議案 令和5年度事業計画（案）

第4号議案 令和5年度歳入歳出予算（案）

第5号議案 役員の選任（案）について

5 閉 会

目 次

1	報告事項	
	報告第1号	規約第12条第1項の規定に基づく専決処分について …… 1
2	審議事項	
	第1号議案	令和4年度事業報告 …… 3
	第2号議案	令和4年度歳入歳出決算報告及び監査報告 …… 25
	第3号議案	令和5年度事業計画（案） …… 28
	第4号議案	令和5年度歳入歳出予算（案） …… 30
	第5号議案	役員の選任（案）について …… 32
3	参考資料	
	資料1	規約 …… 34
	資料2	グループ設置要項 …… 37
	資料3	グループリーダー・アドバイザー会議設置要項 …… 39
	資料4	会員名簿 …… 40
	資料5	アドバイザー名簿 …… 44
	資料6	県民活動推進員名簿 …… 45
	資料7	地域活動員設置要綱 …… 46
	資料8	組織体系図 …… 47

規約第12条第1項の規定に基づく専決処分について

下記のとおり専決処分したので、チャレンジいばらき県民運動規約第12条第2項の規定に基づき、報告いたします。

記

チャレンジいばらき県民運動の令和4年度歳入歳出補正予算について、別記のとおり決定するものとする。

このことについては、総会が招集されるいとまがないことから、チャレンジいばらき県民運動規約第12条第1項の規定に基づき、専決処分する。

令和5年3月29日

チャレンジいばらき県民運動 理事長 阿部 真也

別記

令和4年度 歳入歳出補正予算

1 歳入の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	最終予算額 (A + B)	備考
1 会費	2,430	△ 118	2,312	
(1) 会費	2,330	△ 80	2,250	会費未納
(2) 賛助金	100	△ 38	62	賛助金未納
2 補助金	27,575	0	27,575	
茨城県	27,575	0	27,575	
3 委託金	5,303	0	5,303	
(1) 茨城県	5,303	0	5,303	交流サルーン管理運営委託(5,103千円) 食を通じたエコライフ運動事業委託 (200千円)
4 共催金	1,200	0	1,200	
げんでんふれあい茨城財団	1,200	0	1,200	花いっぱい運動定着化促進事業
5 諸収入	600	△ 180	420	交流サルーン印刷機器等利用料、雑収入の減
6 繰越金	5,868	0	5,868	
計	42,976	△ 298	42,678	

2 歳出の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	補正予算額 (B)	最終予算額 (A + B)	備考
1 県民活動事業費	16,550	△ 2,957	13,593	
(1) 幸せ人財育成サポート事業費	7,500	△ 350	7,150	・社会活動デビュー支援事業 (7,000千円→6,840千円) ・共助社会を実現するための人材活用 (コミュニティワーカー派遣事業) (200千円→10千円)
(2) 地域の幸せ力アップ事業費	4,000	△ 1,744	2,256	・チャレンジいばらき助け合い隊応援事業 (2,500千円→756千円)
(3) 幸せ発信力アップ事業費	3,000	△ 243	2,757	・一人ひとりと自慢ひと幸せ発信運動 (50千円→5千円) ・いばらき幸せ発信事業 (2,000千円→1,899千円) ・県民運動PRのための啓発品 (950千円→853千円)
(4) ICT活用推進事業費	2,050	△ 620	1,430	・IT活用検討会 (150千円→126千円) ・ホームページ修理・保守管理費 (1,900千円→1,304千円)
2 地域活動支援事業費	2,050	△ 725	1,325	・若い世代とつくる新たな地域づくり (大学との連携費用) (600千円→2千円) ・地域活動団体等情報発信事業 (150千円→23千円)
3 NPO等連携協働事業費	7,200	△ 209	6,991	・NPO等連携協働促進事業費 (900千円→708千円) ・団体連携事業費 (300千円→272千円) ・交流サルーン管理運営費 (6,000千円→6,011千円)
4 運営費	16,176	△ 327	15,849	
(1) 人件費	12,500	428	12,928	(事務局3人分)
(2) 会議費等	400	△ 101	299	(グループ会議、理事会、研修費等)
(3) 管理費	3,276	△ 654	2,622	(賃貸料、消耗品、印刷製本費、電話代、郵送料等)
5 予備費	1,000	△ 1,000	0	
計	42,976	△ 5,218	37,758	

※歳入最終予算額－歳出最終予算額＝繰越見込額 (※年度間調整費用)

4,920千円

令和4年度事業報告

(提案理由)

別記のとおり、令和4年度事業を報告し、議決承認を求めるものであります。

<事業報告>

1 会務に関する事項	4
2 チャレンジいばらき県民運動の展開	7
(1) 「幸せ人財育成サポート」に関する事項	7
(2) 「地域の幸せ力アップ」に関する事項	10
(3) 「幸せ発信力アップ」に関する事項	12
(4) 「ICTを活用した県民運動の推進」に関する事項	13
(5) 県内地域における県民運動の推進	13

<付属表>

別表1 市町村別地域活動員（ネットワークカー）委嘱者数	19
別表2 ネットワークカー等連絡協議会設立状況	20
別表3 市町村県民運動推進組織設立状況	21
別表4 令和4年度交流サルーンいばらき利用状況一覧	23
別表5 令和4年度チャレンジいばらき県民運動 後援事業一覧	24

令和4年度 事業報告

令和4年度は、共助による新しい茨城の実現に向けて、県民、NPO、団体、企業、大学、行政が連携しながら、地域課題に挑戦する県民の主体的な県民運動を推進しました。

1 会務に関する事項

(1) 総会（第29回）の開催

日時	令和4年5月26日(木) 13:30～14:30
場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 コミュニティホール
出席数	会員233名中198名出席（委任状129名含む）
議事	報告第1号 規約第12条第1項の規定に基づく専決処分（令和3年度歳入歳出補正予算）について 第1号議案 令和3年度事業報告 第2号議案 令和3年度歳入歳出決算報告及び監査報告 第3号議案 令和4年度事業計画（案） 第4号議案 令和4年度歳入歳出予算（案） 第5号議案 役員の選任（案）について
結果	いずれも原案承認又は可決

(2) 理事会の開催

【第1回理事会】

日時	令和4年5月26日(木) 12:50～13:15
場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 多目的ホール
出席数	理事26名中26名出席（委任状10名含む）、監事2名中1名出席
議事	報告第1号 規約第12条第1項の規定に基づく専決処分（令和3年度歳入歳出補正予算）について 第1号議案 令和3年度事業報告 第2号議案 令和3年度歳入歳出決算報告及び監査報告 第3号議案 令和4年度事業計画（案） 第4号議案 令和4年度歳入歳出予算（案） 第5号議案 役員の選任（案）について
結果	いずれも原案承認又は可決

【第2回理事会】

日時	令和5年3月29日(水) 13:30～14:20
場所	茨城県三の丸庁舎 共用会議室A
出席数	理事26名中14名出席（委任状12名含む）、監事2名中2名出席
議事	報告第1号 令和4年度事業執行状況 第1号議案 令和4年度歳入歳出補正予算（案） 第2号議案 令和5年度事業計画（案） 第3号議案 令和5年度歳入歳出予算（案） 第4号議案 チャレンジいばらき県民運動県民活動推進員の選任（案）について
結果	いずれも原案承認又は可決

(3) グループリーダー・アドバイザー会議

日時	令和5年2月15日(水) 14:00～15:10
場所	茨城県三の丸庁舎(3F) 共用会議室A
出席数	アドバイザー7名中3名、グループリーダー・サブリーダー9名中8名 計11名出席
内容	令和5年度新規事業に係る検討及び意見交換

【個別相談】

- 横須賀聡子アドバイザー(新しい共助社会づくり)
 - ・身近な地域課題解決の担い手となる人財の活用について(令和4年10月11日)

(4) 県民活動推進員の活動

ア 県民活動推進員会議(全体会議)の開催

日時	令和4年4月27日(水) 13:30～
場所	茨城県三の丸庁舎(3F) 共用会議室A
出席数	22名中14名出席
内容	・令和4年度のグループ構成及び正副リーダーの決定 ・令和4年度事業計画の説明

イ IT活用グループ主催「IT研修会」の開催

第1回	日時	令和4年9月14日(水) 13:00～16:00
	場所	茨城県三の丸庁舎(1F) 共用会議室C
	出席数	22名中7名出席
	内容	県民活動推進員を対象とした地域活動に役立つLINE機能の実践
第2回	日時	令和4年9月18日(日) 13:00～16:00
	場所	茨城県三の丸庁舎(1F) 共用会議室C
	出席数	22名中6名出席
	内容	県民活動推進員を対象とした地域活動に役立つLINE機能の実践

ウ 各グループの主な活動

【人財サポートグループ】

第1回	期日	令和4年9月30日(金)
	場所	茨城県三の丸庁舎(3F) 共用会議室B
	出席数	8名中3名出席
	内容	いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」一次審査会
第2回	期日	令和4年11月23日(水・祝)
	場所	茨城県立図書館 視聴覚ホール
	出席数	8名中6名出席
	内容	いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」ファイナリストプレゼンテーション・表彰式

【地域活動支援グループ】

第1回	期日	令和4年10月22日(土)
	場所	潤沼自然公園
	出席数	12名中2名出席
	内容	令和4年度ひぬま流域クリーン作戦に参加

第2回	期 日	令和4年11月1日(火)
	場 所	日立駅
	出席数	12名中2名出席
	内 容	令和4年度「あいさつ・声かけ運動」強調月間街頭キャンペーン
第3回	期 日	令和4年11月1日(火)
	場 所	土浦駅
	出席数	12名中2名出席
	内 容	令和4年度「あいさつ・声かけ運動」強調月間街頭キャンペーン
第4回	期 日	令和4年11月9日(水)
	場 所	下館駅
	出席数	12名中1名出席
	内 容	令和4年度「あいさつ・声かけ運動」強調月間街頭キャンペーン
第5回	期 日	令和4年12月1日(木)
	場 所	茨城県三の丸庁舎(3F) 水戸生涯学習センター大講座室
	出席数	12名中6名出席
	内 容	令和4年度花いっぱい運動定着化促進事業認定証交付式
第6回	期 日	令和5年3月5日(日)
	場 所	土浦市霞ヶ浦総合公園
	出席数	12名中1名出席
	内 容	第99回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦拠点地区事業に参加

【魅力発見・発信グループ】

第1回	日 時	令和4年5月19日(木) 10:00～11:15
	場 所	茨城県三の丸庁舎(2F) 交流サロニーばらき会議室
	出席数	8名中5名出席
	内 容	「チャレいばレターVOL.11(7月発行)」掲載内容の検討
第2回	日 時	令和4年7月21日(木) 10:00～11:35
	場 所	茨城県三の丸庁舎(2F) 交流サロニーばらき会議室
	出席数	8名中6名出席
	内 容	・「チャレいばレターVOL.12(11月発行)」掲載内容の検討 ・「ふるさと自慢」について検討
第3回	日 時	令和4年8月18日(木) 16:00～18:00
	場 所	笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」
	出席数	8名中1名出席
	内 容	「チャレいばレターVOL.12(11月発行)」掲載内容の取材
第4回	日 時	令和4年9月1日(木) 13:00～14:20
	場 所	ひたちなか市市民交流センター
	出席数	8名中3名出席
	内 容	「チャレいばレターVOL.12(11月発行)」掲載内容の取材
第5回	日 時	令和4年9月3日(土) 15:30～17:30
	場 所	水戸市鯉淵市民センター
	出席数	8名中1名出席
	内 容	「チャレいばレターVOL.12(11月発行)」掲載内容の取材

第6回	日時	令和4年11月10日(木) 10:00～11:15
	場所	茨城県三の丸庁舎(2F) 交流サロニーいばらき会議室
	出席数	8名中3名出席
	内容	「チャレいばレター VOL.13 (3月発行)」掲載内容の検討
第7回	日時	令和4年12月21日(水) 15:00～16:00
	場所	茨城県三の丸庁舎(2F) 交流サロニーいばらき会議室
	出席数	8名中1名出席
第8回	日時	令和4年12月22日(木) 10:00～11:30
	場所	(株)エイ・ワン会議室(行方市)
	出席数	8名中1名出席
第9回	日時	令和5年1月14日(土) 10:00～13:00
	場所	茨城県三の丸庁舎(1F) 共用会議室C
	出席数	8名中1名出席
	内容	「チャレいばレター VOL.13 (3月発行)」掲載内容の取材

【IT活用グループ】

第1回	日時	令和4年5月26日(木) 15:00～16:00
	場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館
	出席数	6名中5名出席
	内容	IT研修会内容の検討
第2回	日時	令和4年6月20日(月) 13:30～16:00
	場所	茨城県三の丸庁舎(1F)
	出席数	6名中5名出席
第3回	日時	令和4年9月14日(水) 13:00～16:00
	場所	茨城県三の丸庁舎(1F) 共用会議室C
	出席数	6名中4名出席
第4回	日時	令和4年9月18日(日) 13:00～16:00
	場所	茨城県三の丸庁舎(1F) 共用会議室C
	出席数	6名中3名出席
	内容	IT研修会に参加

2 チャレンジいばらき県民運動の展開

(1) 「幸せ人財育成サポート」に関する事項

ア 社会活動デビュー支援事業の実施【新規】

助け合いの精神に基づき、これから地域コミュニティに参画し、新たな活動にチャレンジしたい方々に対し、社会活動の「はじめの一步」を踏み出すための支援事業を実施しました。

①社会活動デビューセミナー／交流会

第1回	日時	令和4年9月24日(土) 10:00～13:00
	場所	茨城県三の丸庁舎共用会議室C (ハイブリッド開催)
	出席数	36名(うちオンライン17名)
	内容	・テーマ これからの社会活動のはじめ方 一はじめの一步からソーシャルイノベーションまで一 ・ゲスト 有限会社モーハウス 光畑 由佳 氏 NPO法人パブリックマインド 公山 倫子 氏

第2回	日時	令和4年11月12日(土) 10:00～13:00
	場所	茨城県三の丸庁舎共用会議室C (ハイブリッド開催)
	出席数	25名 (うちオンライン11名)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 活動を行う上での地域との向き合い方 —社会貢献とソーシャルビジネスの考え方— ・ゲスト まちづくり会社ドラマティック 今村 ひろゆき 氏 一般社団法人トリナス 土肥 潤也 氏
第3回	日時	令和4年12月3日(土) 10:00～13:00
	場所	茨城県三の丸庁舎共用会議室C (ハイブリッド開催)
	出席数	27名 (うちオンライン9名)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 地域活動に必要な情報発信のやり方 —共感だけではない、地域貢献活動の情報発信— ・ゲスト 株式会社FRASCO 尾崎 香苗 氏 株式会社リバ邸 大堀 悟 氏
第4回	日時	令和5年1月14日(土) 10:00～13:00
	場所	茨城県三の丸庁舎共用会議室C (ハイブリッド開催)
	出席数	35名 (うちオンライン13名)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 地域活動/社会貢献活動に必要な資金の集め方 —地域に根差したソーシャルグッドな資金調達— ・ゲスト 筑波銀行 渡辺 一洋 氏 iria i Tempo 橋永 貴郁 氏
交流会	日時	令和4年8月27日(土) 14:00～17:00
	場所	水戸三の丸ホテル
	出席数	47名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会参加者同士のマッチング ・コミュニティスペース (活動拠点) 運営者からの施設・活動紹介 ・活動実践者からのピッチ

②いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」

地域の困りごとの解決など社会の新しい力になってみたいと考えているの方々に対し、社会貢献のための独自性の高い活動プランのプレゼン機会を提供し、優秀なプランを表彰することにより、社会活動に向けてのチャレンジ精神を醸成するとともに、非営利の社会貢献活動を促進する目的で実施しました。

【応募資格】

- ・県内に住所又は活動の拠点を有している個人又は法人など (学生、社会人、一般社団法人、NPO法人など)

【応募状況】

- ・県内各地に募集チラシ・ポスターを配布したほか、水戸駅構内にポスターを掲示、ホームページ及びSNSを通じて広報を実施しました。令和4年6月1日から7月29日にかけて募集したところ、46の活動プランの応募がありました。

【参考：分野別内訳】

	福 祉	環 境	青少年 育成	防犯・ 防災	地域づ くり	コミュニティ づくり	S D G s	合 計
応募数	13	7	8	3	7	6	2	46

【一次審査（書類審査）】

- ・令和4年9月30日に一次審査会を開催し、7つの活動プランを選出しました。

【最終審査（プレゼンテーション）・概要】

- ・令和4年11月23日に開催した1次審査通過者によるプレゼンテーション審査において、厳正な審査の結果、茨城県知事賞以下受賞者を決定し、表彰式を行いました。

日 時	令和4年11月23日(水・祝) 13:00～17:00
会 場	茨城県立図書館 視聴覚ホール
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・一次審査通過者によるプレゼンテーション ・審査員による質疑応答 ・表彰式（茨城県知事賞、チャレンジいばらき県民運動理事長賞、奨励賞、会員企業特別賞）
参加者	94名（内オンライン観覧28名）

【審査結果（各賞）】

賞 名	団体名等	活動プラン名
茨城県知事賞	For Everyone Study 代表 植竹 智央	大学生や高校による不登校児童生徒へのオンラインでの支援活動～オンラインでの新しい場所の創出～
チャレンジいばらき県民運動理事長賞	Big smile project 代表 本橋 綾子	子ども食堂とドローン教室で夢と笑顔が広がる社会をつくるBig smile project
奨励賞	NPO法人ちいきの学校 理事長 大久保 泰子	介護助手養成 ちいすけ
奨励賞	高校生の社会参画ネットワーク「一つ空の下で（UNSAM）」 代表コーチ 大滝 修	高校生コンソーシアムと地域が協同する「学びのサポート」活動
会員企業特別賞（日東電気株式会社賞）	減災活動団体 a k a r i 代表 森川 もえ	おみやげ話のように広がる減災啓発ギフト
会員企業特別賞（水戸ヤクルト販売株式会社賞）	特定非営利活動法人いろうどり 理事長 小松澤 史江	家庭訪問による手芸コミュニケーション
会員企業特別賞（茨城トヨペット株式会社賞）	加藤 光敏	障がい者に対する金融法律のリテラシー教育

③チャレンジいばらき県民運動デビュー支援サポーターの新設

地域の困りごとの解決などこれから社会の新しい力になってみたいと考えている方々などに対して、専門的な知見を活かした相談対応及び助言を通じて、社会貢献活動への支援を行うため、以下の4名をチャレンジいばらき県民運動デビュー支援サポーターとして委嘱しました。

（敬称略、五十音順）

氏 名	所 属 等
大野 覚	認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長
堀下 恭平	株式会社しびくばわー 代表取締役社長
前田 亮一	株式会社UDワーク 代表取締役
松橋 裕子	一般社団法人わくわく人生デザインラボ 代表理事

④いばらきチャレンジクラブ「SASAEAI」の新設

社会的な活動を始めたい方等への活動支援、活動場所の提供及び社会的活動実践者のネットワーク拡大等の支援を目的として、会員登録制（無料）のクラブを新設しました。クラブ員には、以下の情報をメールマガジンで提供しています。

- ・セミナーや相談会等の開催情報
- ・イベント情報
- ・先輩活動家との交流会開催情報
- ・社会貢献活動に関する各種助成金情報
- ・各種ボランティア募集情報 など

イ 共助社会づくりフォーラムの開催

今後の地域課題の解決にあたっては、オンラインによるデジタルサービスが必要不可欠となることから、デジタルツールを身近に考えてもらう機会として、共助社会づくりフォーラムを開催し、共助意識の醸成を図りました。

日時	令和5年2月22日(水) 13:20～14:00
会場	水戸プラザホテル(2F) プラザボールルーム
内容	・テーマ：「サロン活動でのデジタルの活用方法と3つのポイント」 ・講師：株式会社UDワーク 代表取締役 前田 亮一氏
参加者	218名

(2)「地域の幸せカアップ」に関する事項

ア チャレいば助け合い隊応援事業の実施

行政だけでは十分に対応出来ない課題が増えてきていることから、一人ひとりが地域の担い手として、課題を解決していけるようなコミュニティづくりを推進するため、申請のあったネットワーカー等連絡協議会等6団体に対し、助成を行いました。

【補助対象者】 ネットワーカー等連絡協議会、複数の地域活動員から編成されるグループ、ネットワーカー等連絡協議会が推薦するボランティア団体等、いばらきチャレンジクラブの会員である個人が編成するグループ又は団体等

【補助金額】 20万円以内

【対象経費】 事業実施のための経費

【実績】

団体名	助成対象事業名
利根町ネットワーカー協議会	環境美化保全及び障害者自立支援
もりサポ塾	市内中学生への学習サポート塾の運営
土浦市ネットワーカー等連絡協議会	エコ手づくり教室 アクリルたわし作り
下中地区自主防災会	かすみがうら市下中地区自主防災活動
下妻市ネットワーカー等連絡協議会	スキルアップ研修“スマホ講座”
なめがたネットワーカー連絡協議会	スマホ講習会

イ 令和4年度花いっぱい運動定着化促進事業の実施（公益財団法人げんでんふれあい茨城財団共催事業）

花壇づくりを通じた地域コミュニティの再生・活性化を図るとともに、花いっぱい運動がさらに定着し、発展していくきっかけとなることを目的に実施しました。

【応募状況】

- ・市町村を通じて募集要項を広く配布したほか、ホームページ等での広報を実施し、令和4年6月20日から9月30日にかけて募集を行ったところ、43の団体・学校から応募がありました。

【審査】

- ・令和4年10月18日に「花いっぱい運動定着化促進事業審査委員会（委員5名。委員長：学識経験者・櫻井茂幸氏）」を開催し、24の団体・学校を認定団体として選考しました。
- ・認定団体に対し、花壇づくりに必要な経費を助成することにより、花いっぱい運動の拡大と花壇づくりを通しての地域コミュニティ活性化のきっかけづくりを進めたほか、活動報告を3年間継続して提出していただくことにより、花いっぱい運動の定着化につなげました。

【参考：地区別内訳】

	県央	県北	鹿行	県南	県西	合計
応募数	14	5	8	10	6	43
認定数	7	2	3	7	5	24

【認定証交付式】

日時	令和4年12月1日(木) 13:30～15:30
会場	茨城県三の丸庁舎（3F）茨城県水戸生涯学習センター大講座室
内容	令和4年度花いっぱい運動定着化促進事業認定証交付
参加者	53人

ウ 企業や大学との連携・協働

各地域が抱える身近な地域課題の発見や解決に向けて、大学・企業と連携・協働した事業を実施するとともに、市町村ネットワーク協議会と大学の仲介・調整役となり、新たな連携協働事業の実施に向け検討しました。

①いばらきフードロス削減プロジェクト（未収穫果樹再生アイデアコンテスト）

- ・フードロス削減に向けて、生産農家、企業、大学、かすみがうら市及び茨城県と連携し、未収穫果樹を地域の新たな特産品として商品化を目指す取り組みを行いました。
- ・学生が未収穫となっているブルーベリーの収穫を行い、アイデアコンテストでブルーベリーを使ったスイーツやドリンクなど、商品化に向けた提案を行いました。

【いばらきフードロス削減プロジェクトの概要】

期 日	ブルーベリー農園視察・収穫：令和4年6月19日(日)、7月31日(日)、 8月18日(木)、8月25日(木) アイデアコンテスト：令和4年10月20日(木)
場 所	ブルーベリー農園視察・収穫：かすみがうら市 坂農苑 アイデアコンテスト：サザコーヒー 筑波大学・アリアンサ店
連 携 団 体	坂農苑・株式会社サザコーヒー・株式会社八芳園・筑波大学アートデザインプロデュース・かすみがうら市・茨城県・チャレンジいばらき県民運動
内 容	学生が未収穫となっているブルーベリーを収穫し、商品化に向けた企画を提案するアイデアコンテストを実施し、地域の新たな特産品としての商品化を目指すプロジェクト
参加者	約100人

②ひたち未来アカデミア連携協働事業

不登校の小中学生を支援するため、特定非営利活動法人ひたち NPO センター・with you が子どもの居場所となるフリースクール「ひたち未来アカデミア」を開校したことから、子どもたちと地域とのふれあい方策について、同法人やネットワーカー等連絡協議会等と検討を行いました。

【第1回】

日 時	令和4年11月6日(日) 13:30～15:30
会 場	日立市川尻町「ひたち未来アカデミア」
内 容	特定非営利活動法人ひたちNPOセンター・with you、茨城大学、茨城キリスト教大学、TRICOLOR（常磐大学・常磐短期大学）との意見交換
参加者	16人

【第2回】

日 時	令和4年12月19日(月) 11:00～12:00
会 場	日立市大沼町「金沢交流センター」
内 容	大好きひたちネットワークとの意見交換
参加者	11人

(3)「幸せ発信力アップ」に関する事項

地域で活躍する人、伝統文化、豊かな自然など本県の素晴らしい資源を発掘し、ふるさと茨城をより一層自慢できるよう、魅力度アップに向け広報活動に努めました。

ア 広報紙「チャレいばレター」の発行

チャレンジいばらき県民運動の活動や地域で取り組まれている様々な活動を紹介する広報紙を3回発行し、県民運動の広報活動に努めました。

【「チャレいばレター」の発行】

	発行月	発行部数	主な掲載内容
vol.11	7月	6,000部	総会実施報告、県民活動推進員会議、社会活動デビュー支援事業、提案型共助社会づくり支援事業の紹介、団体会員の社会貢献活動紹介、地域活動員（ネットワーカー）の活動紹介など
vol.12	11月	6,000部	ネットワーカー等連絡協議会代表者会議、社会活動デビューセミナー・交流会、県内各地の共助活動紹介など
vol.13	3月	6,000部	いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」、社会活動デビューセミナー、県内各地の共助活動紹介、寺子屋サルーン、メルマガ登録案内など

イ インターネットによる各種情報の配信

各種ツールを活用し、チャレンジいばらき県民運動や交流サルーンいばらきが開催する講座・イベント情報、ネットワーカー等連絡協議会の活動情報のほか、地域活動団体向けの各種助成金など関連情報を配信し、周知・広報に努めました。

・ホームページアクセス数：80,380件

ウ ふるさと自慢の情報収集

県内各地域において、あまり知られていない、地元ならではの魅力ある地域情報をホームページで発信し、紹介するために、「後世に残したい 地域の宝!」をテーマとして、県民活動推進員及び各ネットワーカー等連絡協議会に対し情報提供を呼びかけた結果、8市町13件のふるさと自慢の投稿があり、チャレンジいばらき県民運動の

ホームページで発信することで、県民の地域への愛着度を深め、本県の魅力向上・地域の活性化を図りました。

エ 市民活動団体の情報提供

市民活動団体同士のマッチング、ボランティア活動希望者とボランティア募集团体のマッチングを図るため、市民活動団体検索データベースをチャレンジいばらき県民運動ホームページに開設し、情報提供を行いました。

・登録団体数： 281 団体

(4) 「ICTを活用した県民運動の推進」に関する事項

ア IT研修会（再掲）

ICTを活用した県民運動の推進を図るため、県民活動推進員を対象としたIT活用研修会を開催しました。

期 日	令和4年9月14日(水)	令和4年9月18日(日)
会 場	茨城県三の丸庁舎 (1F) 共用会議室C	
内 容	地域活動に活用できるLINE機能及びその他ICTツールの使い方	
参加者	9人	8人

イ 地域活動投稿フォームによる情報収集・掲載

チャレンジいばらき県民運動のホームページ上に投稿フォームを設け、県内各地域の活動情報や地域活動員（ネットワーカー）の活動情報を収集し、掲載しました。

ウ メールマガジンの配信

チャレンジいばらき県民運動からのお知らせや地域活動情報をメールマガジンで随時発信することにより、社会活動への参加を促しました。

配 信 開 始 日	令和4年1月6日	
令和4年度 配 信 状 況	登録者数	262件
	発行頻度	月1回
	掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジいばらき県民運動、交流サルーンいばらきからのお知らせ ・地域活動員（ネットワーカー）へのお知らせ ・主催講座・イベント情報 ・地域活動情報 ＜他団体提供情報＞ ①助成金情報、②各種募集情報、③講座・イベント情報、④寄付・募金情報 ほか ＜取り組み・活動紹介＞ ①会員企業・団体の取り組み ②地域活動員（ネットワーカー）の活動 ほか

(5) 県内地域における県民運動の推進

ア NPO等の活動支援

NPO等の活動支援、団体・企業・行政とNPOとの連携・協働を推進しました。

①交流サルーンいばらきの管理・運営

NPOやボランティア団体などの社会貢献活動を支援するため、講座の開催、会議室の無料開放、印刷機器の低料金での使用など、利用環境を整備し、広く利用促進を図りました。

【交流サルーンいばらきの利用状況（詳細は別表4参照）】

開設日	平成11年11月11日	
令和4年度 利用状況	開館日数	285日
	利用者数	5,060人（1日平均17.8人）
※開設からの累計利用者数223,018人／開館日数6,501日／1日平均34.3人		

②講座の開催

NPOや地域活動団体が、主体的に学習し交流するための小規模な学び合いの場となる「寺子屋サルーン」を6回開催しました。なお、今年度は水戸市以外の地域（日立市、土浦市等）でも開催することで講座への参加を促進するとともに、交流サルーンいばらきの知名度向上を図りました。

第1回	日時	令和4年7月17日(日) 13:00～16:00
	会場	交流サルーンいばらき フリースペース
<通算> 28回目	内容	・テーマ：「地域活動に活かす ゼロからのLINE講座」 ・講師：For Everyone Study 植竹 智央 氏
	参加者	7人
第2回	日時	令和4年8月28日(日) 13:00～16:00
	会場	県北生涯学習センター（日立市）
<通算> 29回目	内容	・テーマ：「地域活動に活かす ゼロからのLINE講座」 ・講師：For Everyone Study 植竹 智央 氏
	参加者	7人
第3回	日時	令和4年9月11日(日) 13:00～16:00
	会場	県南生涯学習センター（土浦市）
<通算> 30回目	内容	・テーマ：「地域活動に活かす ゼロからのLINE講座」 ・講師：For Everyone Study 植竹 智央 氏
	参加者	5人
第4回	日時	令和5年1月28日(土) 13:00～16:00
	会場	県西生涯学習センター（筑西市）
<通算> 31回目	内容	・テーマ：「1からのLINE講座～LINEの便利な機能を学ぼう～」 ・講師：For Everyone Study 植竹 智央 氏
	参加者	4人
第5回	日時	令和5年2月12日(日) 13:00～16:00
	会場	鹿行生涯学習センター（行方市）
<通算> 32回目	内容	・テーマ：「1からのLINE講座～LINEの便利な機能を学ぼう～」 ・講師：For Everyone Study 植竹 智央 氏
	参加者	11人
第6回	日時	令和5年3月12日(日) 13:00～16:00
	会場	交流サルーンいばらき フリースペース
<通算> 33回目	内容	・テーマ：「1からのLINE講座～LINEの便利な機能を学ぼう～」 ・講師：For Everyone Study 植竹 智央 氏
	参加者	9人

③市民活動団体の情報提供（再掲）

市民活動団体同士のマッチング、ボランティア活動希望者とボランティア募集团体のマッチングを図るため、市民活動団体検索データベースをチャレンジいばらき県民運動ホームページに開設し、情報提供を行いました。

④交流サルーンいばらきのPR

交流サルーンいばらきの利用促進を図るため、リーフレットを活用した周知に努めました。

⑤NPO等連携協働促進事業

皆が共に助け合い、支え合う「共助社会づくり」を推進するため、セミナー等を開催しました。

【NPO組織基盤強化セミナー】

期 日	令和4年9月21日(水)・9月28日(水)・10月5日(水)
会 場	県北生涯学習センター、県南生涯学習センター (9月) 水戸市福祉ボランティア会館 (10月)
参加者	57人 (内オンライン38人) ※ハイブリッド開催
内 容	・NPO法人会計実務、税務、労務、総務 等 ・講 師：NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 覚氏

【NPO法人設立説明会】

期 日	令和4年8月3日(水)・12月7日(水)・令和5年1月18日(水)・ 2月15日(水)
会 場	交流サルーンいばらき会議室 (8月、12月、1月) 龍ヶ崎市市民活動センター (2月)
参加者	70人 (うちオンライン48人) ※ハイブリッド開催
内 容	・NPO法人制度の概要、設立申請手続 等 ・講 師：NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 覚氏

⑥地域活動団体定期相談会事業

県内において地域活動に取り組もうとする、若しくは取り組んでいる者が主体的かつ円滑に事業を進めていくことができるよう、毎月第3木曜日(4月を除く)に定期相談会を開催しました。

【チャレいば地域活動団体等相談会】

期 日	令和4年4月26日(火)、5月19日(木)、6月16日(木)、7月21日(木)、 8月18日(木)、9月15日(木)、10月20日(木)、11月17日(木)、 12月15日(木)、令和5年1月19日(木)、2月16日(木)、3月16日(木)
会 場	交流サルーンいばらき 会議室 (オンライン相談含む)
相談実績	25件 (オンライン相談12件含む)
相 談 員	NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 覚氏 コーディネーター 伊東 輝実氏

イ 地域活動員(ネットワーカー)による県民運動の推進

地域活動員及び市町村との連携を密にし、県民運動の地域への浸透を推進しました。

①令和4年度地域活動員(ネットワーカー)委嘱状交付式

日 時	令和5年2月22日(水) 13:00 ~ 13:20
会 場	水戸プラザホテル(2F) プラザボールルーム
※令和4年度新規委嘱地域活動員：21人 <参考> 地域活動員総数：711人(令和5年3月31日現在) ※市町村別内訳は別表1のとおり	

②ネットワーカー活動推進大会の開催

県内各地において地域活動を実践し、県民運動の普及に努めている地域活動員「ネットワーカー」が、大会を通じて研鑽と交流を深めることにより、今後の地域活動の活性化につなげるために開催しました。

日時	令和5年2月22日(水) 14:00～15:15
会場	水戸プラザホテル(2F) プラザボールルーム
内容	・いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」受賞者の活動発表 ・交流会(参加者同士の意見交換)
参加者	218人

③ネットワーカー等連絡協議会代表者会議の開催

ネットワーカー等連絡協議会とチャレンジいばらき県民運動との連携強化を図る目的で開催しました。

日時	令和4年7月13日(水) 13:30～
会場	ホテルレイクビュー水戸(2F) 飛天の間
内容	・令和4年度チャレンジいばらき県民運動の事業内容等説明 ・令和3年度チャレいば助け合い隊応援事業の紹介 ・交流会(参加者同士の意見交換)
参加者	76人

④市町村ネットワーカー等連絡協議会への助成

県内各地において地域活動を実践し、県民運動の普及に努めているネットワーカーの活動を支援するため、市町村ネットワーカー等連絡協議会に対し助成を行いました。

ウ 団体等との連携の促進

各種団体や企業、行政との連携を強化し、チャレンジいばらき県民運動の一層の推進に努めました。

①地域コミュニティ活動の推進

あいさつ・声かけ運動などによりコミュニケーションの輪を広げ、地域コミュニティの活性化や地域コミュニティのネットワークの強化を図りました。

【あいさつ・声かけ運動】

家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションの輪を広げ、地域住民の連帯感の醸成を図るため、公益社団法人茨城県青少年育成協会を中心に連携して、全県的な運動を展開しています。

10月から12月にかけて、県内各地において「あいさつ・声かけ運動街頭啓発」を実施しました。

10/2(日) ケーズデンキスタジアム水戸

11/1(火) 日立駅、常陸多賀駅、十王駅、土浦駅、荒川沖駅、神立駅

11/2(水) 大みか駅、小木津駅、新鉾田駅

11/9(水) 下館駅

12/14(水) アダストリアみとアリーナ

②水質浄化運動の推進

プラスチックごみによる海洋汚染問題が大きくクローズアップされており、清掃活動終了後にオリジナルのエコバッグを配布するなど、マイバッグ運動を推進しました。

【令和4年度ひぬま流域クリーン作戦】

期 日	令和4年10月22日(土)
場 所	潤沼自然公園(茨城町)周辺の潤沼湖畔
主 催	クリーンアップひぬまネットワーク、チャレンジいばらき県民運動
参加主体	ネットワーク会員(流域住民・企業)、各ボランティア団体、茨城町内中学校2校、地域活動員(ネットワーク)、一般県民
内 容	潤沼自然公園を起点に東西3コースに分かれ、湖畔のゴミ拾い作業を行う。
参加者	391人

【第99回 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦拠点地区事業】

期 日	令和5年3月5日(日)
場 所	土浦市「霞ヶ浦総合公園」周辺及び湖岸
主 催	霞ヶ浦問題協議会、チャレンジいばらき県民運動、(公財)茨城県開発公社、土浦市
内 容	霞ヶ浦総合公園周辺等の清掃活動
参加者	393人

③他団体への後援

他の団体が行う活動で、県民運動の趣旨に合致し、県民運動の推進に寄与するものについて、後援を行いました。

【後援名義使用承認件数】

分 野	団体数	分 野	団体数
青少年育成関連	3	まちづくり	1
環境関連	3	芸術、文化、スポーツ関連	1
福祉関連	1	その他	1
		合 計	10

④会員数の推移

各種会議、広報紙やホームページ等により新規会員の募集に努めました、

	R4年3月末現在	新 規	退 会	R5年3月末現在
団 体	233	3	3	233
個 人	212	4	6	210

エ 生活学校との連携・協働

地球温暖化や廃棄物問題など年々深刻化する地球規模での環境問題を解決するため、茨城県生活学校連絡会などと連携し、県民一人ひとりが“もったいない”の気持ちを大切にし、家庭や地域、学校、職場など様々な場において、省エネルギー・省資源・4Rなどの環境保全のための実践活動に取り組む「エコライフ運動」を推進しました。

①食を通じたエコライフ運動の実施

県民一人ひとりが身近な食を通して、環境に対する理解を深め、家庭や地域など様々な場面において環境に配慮したライフスタイルの普及・推進に努めました。

【食を通じたエコライフについて学ぶ勉強会】

第1回	日時	令和4年5月17日(火) 13:30～
	会場	茨城県三の丸庁舎(3F) 共用会議室A
	内容	○講演会 ①テーマ：「都心の生活をのぞいて」 講師：茨城県営業戦略部農産物輸出促進チーム チームリーダー 掛札 巧氏 ②テーマ：「いばらきフードロス削減プロジェクト」 講師：茨城県県民生活環境部環境政策課 副参事 菊地 みち子氏
	参加者	56人
第2回	日時	令和4年10月5日(水) 9:30～13:00
	会場	学校法人中川学園大町料理教室
	内容	○食品ロス料理講習 講師：中川学園調理技術専門学校理事 中川 一恵氏
	参加者	17人
第3回	期日	令和4年11月14日・19日・22日、12月20日・21日、令和5年1月8日・21日
	会場	小川保健相談センター他6会場
	内容	○エコクッキング教室 ・食べ切り・使い切り料理（廃棄食材を少なくするためのアイデア料理）の推進について ・調理実習
	参加者	98人

②茨城県生活学校連絡会運動大会への支援

日時	令和5年2月9日(木) 13:30～15:30
会場	茨城県立歴史館(講堂)
内容	○テーマ「みんなでチャレンジ! 減らそう食品ロス」 ○パネルディスカッション ・コーディネーター 茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川幸介氏 ・パネラー いばらきコープ生活協同組合 総合企画部次長 篠崎 勉氏 茨城県JA女性組織協議会 会長 吉村 佳子氏 茨城県県民生活環境部資源循環推進課 企画調整グループ 課長補佐 榎本 孝輝氏 かすみがうら市産業経済部 理事 高井 淳氏 茨城県生活学校連絡会 副会長 福島ヤヨヒ氏
参加者	92人

③4R実践活動の推進

茨城県生活学校連絡会と連携し、イベント等を通じてエコライフ登録団体等に対して4R実践活動を推進しました。

- ・県庁(2階県民ホール)でのパネル展示
- ・古布、牛乳パック等を使った小物作り
- ・地産地消フードマイレージ、エコクッキングの推進普及活動

4R	Reduce (リデュース)	ゴミを減らす
	Reuse (リユース)	繰り返し使う
	Recycle (リサイクル)	資源として再利用する
	Refuse (リヒューズ)	いらぬものは断る

別表1

市町村別地域活動員（ネットワーク）委嘱者数

令和5年3月31日現在

市町村名	R4.3.31 現在	R5.3.31 現在	増減	市町村名	R4.3.31 現在	R5.3.31 現在	増減	
水戸市	28	21	-7	筑西市	59	56	-3	
日立市	16	13	-3	坂東市	20	20	0	
土浦市	14	12	-2	稲敷市	1	1	0	
古河市	12	11	-1	かすみがうら市	3	3	0	
石岡市	5	5	0	桜川市	8	7	-1	
結城市	19	15	-4	神栖市	31	31	0	
龍ヶ崎市	3	1	-2	行方市	33	33	0	
下妻市	27	23	-4	鉾田市	2	1	-1	
常総市	28	26	-2	つくばみらい市	0	0	0	
常陸太田市	6	6	0	小美玉市	18	17	-1	
高萩市	8	8	0	東茨城郡	茨城町	11	11	0
北茨城市	15	14	-1		大洗町	47	22	-25
笠間市	51	47	-4		城里町	8	7	-1
取手市	2	2	0	那珂郡	東海村	11	10	-1
牛久市	20	19	-1	久慈郡	大子町	8	9	1
つくば市	20	20	0	稲敷郡	美浦村	20	20	0
ひたちなか市	26	23	-3		阿見町	37	38	1
鹿嶋市	13	12	-1		河内町	2	2	0
潮来市	23	24	1	結城郡	八千代町	7	7	0
守谷市	27	27	0	猿島郡	五霞町	16	10	-6
常陸大宮市	23	20	-3		境町	10	10	0
那珂市	12	12	0	北相馬郡	利根町	37	35	-2
				合計	787	711	-76	

内訳 新規委嘱等 22
解嘱 98

別表2

ネットワーク等連絡協議会設立状況

令和5年3月31日現在

No.	市町村名	協議会名称	会員数	設立年月日
1	日立市	大好きひたちネットワーク	12	平成17年5月21日
2	土浦市	土浦市ネットワーク等連絡協議会	12	平成12年3月29日
3	古河市	古河市ネットワーク等連絡協議会	1	平成19年9月23日
4	石岡市	石岡市ネットワーク活動連絡協議会	5	平成14年6月19日
5	結城市	結城市ネットワーク等連絡協議会	14	平成14年1月30日
6	龍ヶ崎市	ネットワークドラゴンズ	－	平成15年11月13日
7	下妻市	下妻市ネットワーク等連絡協議会	23	平成18年4月12日
8	常総市	ネットワーク常総	26	平成21年5月10日
9	常陸太田市	おおたネットワーク	5	平成19年6月13日
10	高萩市	高萩ネットワーク連絡協議会	7	平成30年5月18日
11	北茨城市	大好き北茨城ネットワーク協議会	14	平成14年11月7日
12	笠間市	チャレンジかさまネットワーク連絡協議会	47	平成18年5月15日
13	牛久市	牛久市ネットワーク連絡協議会	19	平成10年10月9日
14	つくば市	つくば市ネットワークの会	20	平成14年3月25日
15	ひたちなか市	ひたちなか市ネットワーク連絡協議会	21	平成23年7月29日
16	鹿嶋市	ネットワークかしま	12	平成12年1月17日
17	潮来市	潮来市ネットワーク連絡協議会	24	平成15年10月2日
18	守谷市	守谷市ネットワーク連絡協議会	27	平成15年11月15日
19	常陸大宮市	常陸大宮市ネットワーク協議会	20	平成19年8月10日
20	那珂市	那珂市ネットワーク連絡協議会	12	平成17年5月17日
21	筑西市	筑西市ネットワーク協議会	56	平成18年5月18日
22	坂東市	坂東市ネットワーク連絡協議会	20	平成17年6月3日
23	稲敷市	新利根町ネットワーク等連絡協議会	－	平成10年9月24日
24	かすみがうら市	霞ヶ浦地区ネットワーク等連絡協議会	－	平成10年10月21日
25	桜川市	桜川市ネットワーク協議会	7	平成19年6月16日
26	神栖市	ネットワークかみす	31	平成19年11月29日
27	行方市	なめがたネットワーク連絡協議会	33	平成27年11月19日

No.	市町村名	協議会名称	会員数	設立年月日
28	銚田市	銚田市ネットワーカー等連絡協議会	－	平成10年10月9日
29	小美玉市	小美玉ネット	17	平成18年11月13日
30	茨城町	茨城町ネットワーカー等連絡協議会	9	平成15年11月22日
31	大洗町	大洗町ネットワーカー等連絡協議会	22	平成27年11月20日
32	城里町	チャレンジしろさと	7	平成28年10月28日
33	東海村	東海村ネットワーカー協議会	10	平成16年3月22日
34	大子町	大子町ネットワーカー協議会	9	平成20年4月24日
35	美浦村	大好き美浦村ネットワーカー協議会	20	平成20年4月5日
36	阿見町	阿見町ネットワーカー協議会	38	平成20年7月22日
37	八千代町	八千代町ネットワーカー等連絡協議会	7	平成14年9月20日
38	五霞町	五霞町ネットワーカー連絡協議会	10	平成10年10月19日
39	境町	境町ネットワーカー等連絡協議会	10	平成10年3月4日
40	利根町	利根町ネットワーカー協議会	35	平成11年10月26日

別表3

市町村県民運動推進組織設立状況

令和5年3月31日現在

No.	市町村名	協議会名称	登録年度
1	水戸市	水戸市住みよいまちづくり推進協議会	平成8年度
2	土浦市	土浦市まちづくり市民会議	平成14年度
3	高萩市	高萩市市民憲章推進協議会	平成15年度
4	小美玉市	小美玉市まちづくり組織連絡会	平成12年度

別表 4

令和 4 年度交流サロニーばらき利用状況一覽

	開館 実日数	来訪・利用者		内 訳					
				会 議 室		印刷機		パソコン 利用者数	インターネット アクセス件数
		総人員	1日平均	利 用 団体数	利用者数	利 用 団体数	印刷枚 数		
4月	25	666	26.6	30	226	61	88,680	21	5,201
5月	23	469	20.4	31	168	43	40,234	12	4,845
6月	26	510	19.6	35	243	48	48,971	11	8,570
7月	25	351	14.0	27	175	28	23,957	18	9,736
8月	24	308	12.8	21	139	23	18,178	7	9,926
9月	23	407	17.7	26	177	32	40,361	15	5,516
10月	24	427	17.8	30	196	39	29,938	9	5,849
11月	22	361	16.4	24	179	34	14,909	9	5,993
12月	24	360	15.0	29	180	29	14,178	9	5,490
1月	22	346	15.7	26	164	23	29,503	5	6,041
2月	21	390	18.6	27	189	22	15,870	7	5,815
3月	26	465	17.9	34	252	33	16,955	11	7,398
合 計	285	5,060	17.8	340	2,288	415	381,734	134	80,380
累計 (H11.11.11~)	6,501	223,018	34.3	7,904	72,698	16,575	18,724,689	4,374	936,740

別表5

令和4年度チャレンジいばらき県民運動 後援事業一覧

番号	後援事業名	実施日	団体名
1	令和4年度霞ヶ浦水質浄化ポスターコンクール	9月30日	茨城県霞ヶ浦環境科学センター
2	LOVE TRAIN 常総～友達からでもいいですか～ (中止)	10月2日	LOVE TRAIN 常総実行委員会 (結城市まちづくり協働課)
3	第27回茨城県健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会	10月13日	(社福) 茨城県社会福祉協議会
4	第72回茨城県社会福祉大会	10月19日	(社福) 茨城県社会福祉協議会
5	いばらき読書フェスティバル2022	11月6日	茨城県立図書館
6	ナイスハートふれあいフェスティバル2022	12月1日 ～12月5日	茨城県福祉部障害福祉課
7	令和4年度青少年健全育成茨城県推進大会	2月8日	(公社) 茨城県青少年育成協会
8	茨城県生活学校連絡会運動大会	2月9日	茨城県生活学校連絡会
9	第30回羽鳥クイズウォークラリー	2月25日	青少年を育てる小美玉市民の会
10	常陸国YOSAKOI祭り (第20回YOSAKOI茨城大会)	5月20日 ～5月21日	常陸国YOSAKOI祭り本部委員会

令和4年度 歳入歳出決算

(提案理由)

以下のとおり、令和4年度の歳入歳出決算を報告し、議決承認を求めるものであります。

1 歳入の部

(単位：円)

項 目	最終予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)	備 考
1 会 費	2,312,000	2,312,000	0	団体会員会費 (2,250,000 円) 個人会員会費 (62,000 円)
2 補助金	27,575,000	27,575,000	0	チャレンジいばらき県民運動補助 (27,575,000 円)
(1) 茨城県	27,575,000	27,575,000	0	
3 委託金	5,303,000	5,303,000	0	
(1) 茨城県	5,303,000	5,303,000	0	交流サルーンいばらき管理運営 (5,103,000円) 食を通じたエコライフ運動推進事業 (200,000円)
4 共催金	1,200,000	1,200,000	0	
(1) げんでんふれあい茨城財団	1,200,000	1,200,000	0	花いっぱい運動定着化促進事業
5 諸収入	420,000	420,215	215	利子、交流サルーンの印刷機器等の利用収入等
6 繰越金	5,868,000	5,868,135	135	
計	42,678,000	42,678,350	350	

2 歳出の部

(単位：円)

項 目	最終予算額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B-A)	備 考
1 県民活動事業費	13,593,000	13,596,825	3,825	
(1) 幸せ人財育成サポート事業費	7,150,000	7,144,599	△ 5,401	共助社会づくりフォーラム 社会活動デビュー支援事業 共助社会を実現するための人材活用
(2) 地域の幸せ力アップ事業費	2,256,000	2,253,569	△ 2,431	チャレいば助け合い隊応援事業 花いっぱい運動定着化促進事業
(3) 幸せ発信力アップ事業費	2,757,000	2,768,479	11,479	いばらき幸せ発信事業（広報紙ほか） 一人ひと自慢ひと幸せ発信事業 県民運動PRのための啓発品
(4) ICT活用推進事業費	1,430,000	1,430,178	178	IT活用検討会 ホームページ管理運営
2 地域活動支援事業費	1,325,000	1,279,078	△ 45,922	地域活動団体等情報発信事業 若い世代とつくる新たな地域づくり 地域活動サポート事業
3 NPO等連携協働事業費	6,991,000	7,001,656	10,656	NPO等連携協働促進事業 団体連携事業 交流サークル管理運営
4 運営費	15,849,000	15,798,187	△ 50,813	
(1) 人件費	12,928,000	12,920,400	△ 7,600	事務局4人分
(2) 会議費等	299,000	276,045	△ 22,955	理事会、アドバイザー、推進員の旅費 等
(3) 管理費	2,622,000	2,601,742	△ 20,258	賃借料、電話代、郵送料等
5 予備費	0	0	0	
計	37,758,000	37,675,746	△ 82,254	


歳入決算額 42,678,350 円 - 歳出決算額 37,675,746 円 = 5,002,604 円
 差引残高 5,002,604 円は、令和 5 年度に繰り越します。

監 査 報 告 書

令和4年度におけるチャレンジいばらき県民運動の帳簿、証拠書類及び決算書について監査を行った結果、その内容が適正であったことを認めます。

令和5年5月12日

監事 折笠 修平 

監事 松崎 達人 

令和5年度事業計画（案）

【運営方針】

人口減少や高齢化の急激な進行に加え、コロナ禍により、地域における共助機能は低下し、高齢者などの孤立や介護、日常の困りごとへの対応などが大きな課題になっています。

また、ウクライナ侵攻や円安の影響による物価の高騰により、生活困窮世帯が増加し、食の提供や学習支援等の必要性が高まっているほか、ヤングケアラーや不登校などの青少年に関わる問題も深刻化しております。

さらに、福祉や環境保全、防犯・防災、ICTを活用した安全安心な生活の確保など様々な分野で支え合いが必要になっています。

このような課題に対応していくためには、多様なアイデアが生まれ、地域の問題に果敢に挑戦できる環境づくりを進めるとともに、共助社会づくりのための人財育成を積極的に進め、より多くの方々が社会活動に参加できる取組みを推進する必要があります。

このため、令和5年度においては、新たに、ボランティア活動を行っている方々の取組みを紹介する場を設け、ボランティア希望者の参加促進や活動者同士の情報交換、ネットワークの拡充を促進してまいりますほか、引き続き、「いばらきチャレンジアワード」を開催し、社会活動に向けてのチャレンジ精神の醸成を図り、その活動を促進するとともに、これから社会の新しい力になってみたいと考えている方々を支援する「社会活動デビューセミナー」を実施するなど、地域課題解決に向けて多くの方々がチャレンジできる取組みを進めてまいります。

また、ホームページや広報紙などを活用し、地域活動員や生活学校、NPO、ボランティア、当団体の会員の皆様などが地域で実践している活動の状況を紹介することにより、地域づくりや社会活動への参加を促すとともに、各種助成金情報やボランティアの募集情報等を幅広く収集し、SNS、メールマガジン等で提供するなど、情報発信機能の充実を図りながら、複雑・多様化する社会情勢に対応し、地域社会活動を促進するプラットフォームづくりを進めてまいります。

さらに、地域に根ざした活動を行っている地域活動員や生活学校の方々の実践・普及活動に対する支援をはじめ、行政の支援が届きにくい課題に対する創意工夫を凝らした取組みに対する助成や企業や大学と連携協働した地域貢献活動などにも引き続き取り組んでまいります。

【県民運動の展開】

1 幸せ人財育成サポート

新しい茨城の力になる共助のためのボランティア活動の活性化を図るとともに、助け合いの精神に基づき、これから地域コミュニティに参画し、新たに活動にチャレンジする人財が生まれるような取組みを促進します。

- 様々な分野のボランティア活動を紹介する場を設け、新たなボランティア活動者の参加促進及び活動者同士の情報交換・ネットワークづくりを支援
- 社会活動の「はじめの一步」を応援するためのセミナー・交流会を開催
- 社会活動に向けたチャレンジ精神の醸成と新たな取組みを促進するためのコンテストを開催

2 地域の幸せ力アップ

行政だけでは十分に対応出来ない課題が増えてきていることから、自分たち一人ひとりが地域の担い手として自助努力しながら、かつ、皆で支え合うことによって課題を解決していけるような県民運動を展開していきます。

- 県内各地において県民運動の実践・普及に努めている地域活動員の活動への支援
- 行政の支援が届きにくい社会的課題の解決に向けた地域活動への支援
- 各地域が抱える身近な地域課題の発見や解決に向け、企業や大学と地域との連携協働をコーディネートし、多様で特色ある取組みが広がるよう支援
- 生活学校との連携によるエコライフ運動・4R実践活動の推進
- 水質浄化運動やあいさつ・声かけ運動により、地域環境の保全や青少年の健全育成を推進

3 幸せ発信力アップ

県民一人ひとりが郷土に愛着と誇りを持てるよう、ホームページ等を活用して魅力的な地域資源や地域での活動情報を発信するなど、本県の魅力向上に取り組みます。

- 地域資源の発見・発信強化
 - ・地域活動員等を通じた地域資源の発見とインターネットを活用した紹介
- 各種媒体を活用し地域で輝く人及び活動情報を紹介
 - ・公式サイトやSNSなどの情報発信ツールを活用し、チャレンジいばらき県民運動の事業や、会員企業・団体、ネットワーカー等連絡協議会の活動情報などを紹介
 - ・広報紙「チャレいばレター」の発行、メールマガジンの配信

4 ICTを活用した県民運動の推進

ネットワーカーや地域で活動する方々がICTを活用し、活動領域の拡大や地域コミュニティの活性化を図るため、スキルアップのための講座の開催や、各地域での研修会への助成などを引き続き行い、ICTを活用した県民運動を推進してまいります。

5 プラットフォーム機能の強化

地域社会を取り巻く状況が大きく変化している中、様々な地域課題を解決するため、県民、NPO、企業・団体、行政など多様な主体の連携協働を促進するとともに、地域活動を始めるための支援や活動を充実・拡充していくための支援など、プラットフォーム（共通基盤）としての機能を強化してまいります。

(1) 情報提供や相談体制の充実などマッチング機能の強化

- 会員の社会貢献活動や地域活動団体のイベント情報などを幅広く収集し、ホームページやメールマガジン等で紹介することにより、活動希望者への動機付けを図る。
- 地域活動団体データベースや相談体制の充実を図ることにより、希望する活動に従事できるようマッチング機能を強化する。

(2) 「いばらきチャレンジクラブ」会員への情報提供

地域活動を通じて社会貢献をしたいと考えている方々を対象に設置した会員登録制（無料）クラブ「いばらきチャレンジクラブ」会員が、情報収集や仲間づくりを行えるようにするため、各種セミナーやイベント・助成金情報等をメールマガジンでの配信により提供します。

(3) 地域活動を支援する専門家の活用

地域活動を行うに当たっての専門的な相談に対応するため、各分野の専門家により設置した「デビュー支援サポーター」の活用により、円滑な地域活動を支援します。

(4) NPO等の立ち上げ支援等

- NPO法人設立説明会の開催
- NPO組織基盤強化セミナーの開催
- 地域円卓会議の開催
- 定期相談会の開催

(5) 「交流サルーンいばらき」における地域活動支援

NPOや地域活動団体等が主体的に活動し、交流を促進するため、交流サルーンいばらきにおいて、講座（「寺子屋サルーン」）の開催、会議室の無料開放や低料金による印刷機器の利用サービスを行います。

第4号議案

令和5年度 歳入歳出予算（案）

（提案理由）

別記のとおり、令和5年度歳入歳出予算を提案し、議決承認を求めるものであります。

別記

令和5年度 歳入歳出予算 (案)

1 歳入の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	前年度当初 予算額(B)	増減額 (A-B)	備考
1 会費	2,430	2,430	0	
(1) 会費	2,330	2,330	0	組織会員会費 (233 団体：2,330 千円)
(2) 賛助金	100	100	0	個人会員 (賛助会費) 納入見込 (50 人：100 千円)
2 補助金	27,575	27,575	0	
(1) 茨城県	27,575	27,575	0	チャレンジいばらき県民運動補助
3 委託金	5,555	5,303	252	
(1) 茨城県	5,555	5,303	252	交流サルーン管理運営委託 (5,355 千円) 食を通じたエコライフ運動事業委託 (200 千円)
4 共催金	1,200	1,200	0	
(1) げんでんふれあい茨城財団	1,200	1,200	0	花壇定着化促進事業
5 諸収入	600	600	0	交流サルーン印刷機器利用料、利子等
6 繰越金	5,003	5,868	△ 865	
計	42,363	42,976	△ 613	

2 歳出の部

(単位：千円)

項目	当初予算額 (A)	前年度当初 予算額(B)	増減額 (A-B)	備考
1 県民活動事業費	16,450	16,550	△ 100	
(1) 幸せ人財育成サポート事業費	8,600	7,500	1,100	・【新規】(仮称)私のボランティア[トーク&マッチング]事業(900千円) ・【継続・拡充】社会活動デビュー支援事業 (①セミナー/交流会②アワード ③サポーター相談④チャレンジクラブ⑤活動報告会) (7,700 千円) 【増減原因】 ・(仮称)私のボランティア[トーク&マッチング]事業の増(900千円) ・社会活動デビュー支援事業の増 (700 千円) ・共助社会づくりフォーラムの見直し (△ 300 千円) ・共助社会を実現するための人財活用 (コミュニティワーカー派遣事業) の廃止 (△ 200 千円)
(2) 地域の幸せ力アップ事業費	3,550	4,000	△ 450	・【継続・見直し】チャレいばらき助け合い隊応援事業(2,050千円) ・【継続】花壇定着化促進事業 (1,500 千円) 【増減原因】 ・チャレいばらき助け合い隊応援事業の減 (△ 450 千円)
(3) 幸せ発信力アップ事業費	3,150	3,000	150	・【継続】一人ひとりと自慢ひと幸せ発信運動(ふるさと自慢)(50千円) ・【継続・拡充】いばらき幸せ発信事業(広報紙作成)(2,100千円) ・【継続・拡充】県民運動PRのための啓発品作成等(1,000千円) 【増減要因】 ・いばらき幸せ発信事業(広報紙作成)の増(100千円) ・県民運動PRのための啓発品作成等の増(50千円)
(4) ICT活用推進事業費	1,150	2,050	△ 900	・【継続】IT活用検討 (150 千円) ・【継続】ホームページ修正・保守管理費 (1,000 千円) 【増減要因】 ・ホームページ修正・保守管理の減 (△ 900 千円)
2 地域活動支援事業費	1,500	2,050	△ 550	・【継続・見直し】若い世代とつくる新たな地域づくり(大学等との連携費用)100千円 ・【継続・見直し】地域活動団体情報発信事業 100 千円 ・【継続】地域活動サポート事業 (NW活動推進費、助成金) 1,300 千円 【増減要因】 ・若い世代とつくる新たな地域づくり(大学等との連携費用)の減 (△ 500 千円) ・地域活動団体情報発信事業の減 (△ 50 千円)
3 NPO等連携協働事業費	7,300	7,200	100	・【継続】NPO等連携協働促進事業費 (NPO法人説明会・定期相談会等) 900 千円 ・【継続】団体連携事業費 300 千円 (生活学校連携費 200 千円、他団体連携費 100 千円) ・【継続・拡充】交流サルーン管理運営費 6,100 千円 (委託費 5,355 千円、運営費 745 千円) 【増減要因】 ・交流サルーン管理運営費の増 (100 千円)
4 運営費	16,113	16,176	△ 63	
(1) 人件費	12,900	12,500	400	専務理事 1 名 + 事務局 3 人分
(2) 会議費等	400	400	0	理事会、アドバイザー会議、推進員会議、研修費等
(3) 管理費	2,813	3,276	△ 463	賃貸料、消耗品、印刷製本費、電話代、郵送料 など
5 予備費	1,000	1,000	0	
計	42,363	42,976	△ 613	

役員を選任（案）について

（提案理由）

チャレンジいばらき県民運動規約第5条の規定により、役員を選任を求めるものであります。

任期：令和7年度総会終結時まで

役職名	氏名	所属等
理事長	阿部 真也	茨城県中小企業団体中央会会長
副理事長	幡谷 定俊	茨城トヨペット株式会社代表取締役会長
専務理事	斎田 陽介	チャレンジいばらき県民運動
理事	青木 恭代	茨城県生活協同組合連合会副会長理事
	阿部 重典	株式会社茨城放送 代表取締役社長
	安藤 聖志	守谷市ネットワーカー連絡協議会会長
	飯田 哲雄	茨城県自治会連合会会長
	池田 馨	特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく理事長
	大森 祥子	茨城県農業協同組合中央会総務教育部長
	小川 一成	茨城産業会議議長
	亀井 比志子	茨城県消費者団体連絡会副会長
	川崎 篤之	株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント代表取締役社長
	志賀 正章	茨城県学校長会会長
	竹之内 章代	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会会長
	中村 久子	茨城県生活学校連絡会副会長
	沼田 安広	株式会社茨城新聞社代表取締役社長
	幡谷 史朗	茨城トヨタ自動車株式会社代表取締役社長
	林 利家	茨城県県民生活環境部長
	林 由香里	茨城県女性団体連絡会広報委員長
	堀井 武重	環境保全茨城県民会議副議長
	松橋 裕子	一般社団法人わくわく人生デザインラボ代表理事
	松本 英子	公益社団法人茨城県青少年育成協会副会長
	三ツ堀 裕太	株式会社ユニキャスト代表取締役
村田 みのり	公益財団法人茨城県国際交流協会理事	
吉川 尚子	公益財団法人茨城県老人クラブ連合会女性委員会委員長	
鷺田 美加	株式会社RION代表取締役	
監事	折笠 修平	茨城県都市教育長協議会副会長
	須能 浩信	茨城県県民生活環境部次長

チャレンジいばらき県民運動役員等一覧

【役員】

役職名	氏名	所属等
理事長	阿部 真也	茨城県中小企業団体中央会会長
副理事長	幡谷 定俊	茨城トヨペット株式会社代表取締役会長
専務理事	斎田 陽介	チャレンジいばらき県民運動
理事	青木 恭代	茨城県生活協同組合連合会副会長理事
	阿部 重典	株式会社茨城放送 代表取締役社長
	安藤 聖志	守谷市ネットワークー連絡協議会会長
	飯田 哲雄	茨城県自治会連合会会長
	池田 馨	特定非営利活動法人ひと・まちねっとわーく理事長
	大森 祥子	茨城県農業協同組合中央会総務教育部長
	小川 一成	茨城産業会議議長
	亀井 比志子	茨城県消費者団体連絡会副会長
	川崎 篤之	株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント代表取締役社長
	志賀 正章	茨城県学校長会会長
	竹之内 章代	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会会長
	中村 久子	茨城県生活学校連絡会副会長
	沼田 安広	株式会社茨城新聞社代表取締役社長
	幡谷 史朗	茨城トヨタ自動車株式会社代表取締役社長
	林 利家	茨城県県民生活環境部長
	林 由香里	茨城県女性団体連絡会広報委員長
	堀井 武重	環境保全茨城県民会議副議長
	松橋 裕子	一般社団法人わくわく人生デザインラボ代表理事
	松本 英子	公益社団法人茨城県青少年育成協会副会長
	三ツ堀 裕太	株式会社ユニキャスト代表取締役
村田 みのり	公益財団法人茨城県国際交流協会理事	
吉川 尚子	公益財団法人茨城県老人クラブ連合会女性委員会委員長	
鷺田 美加	株式会社RION代表取締役	
監事	折笠 修平	茨城県都市教育長協議会副会長
	須能 浩信	茨城県県民生活環境部次長

【顧問・参与】

役職名	氏名	所属等
顧問	大井川 和彦	茨城県知事
参与	山口 伸樹	茨城県市長会会長
	中島 栄	茨城県町村会会長

チャレンジいばらき県民運動 規約

(名 称)

第1条 この会は、チャレンジいばらき県民運動（以下「当会」という。）という。

(目 的)

第2条 当会は、やさしさとふれあいのある茨城づくりと県民運動を通しての新しい茨城のイメージづくりをめざすとともに、県民一人一人が幸せを実感でき、共助による新しい茨城の実現を目指し、県民の主体的な県民運動を推進することを目的とする。

(構 成)

第3条 当会は、前条の目的に賛同する市町村県民運動推進組織、広域的・機能別県民運動団体、地域活動団体、企業、大学、市町村及び県（以下「団体等」という。）で構成する。

(事 業)

第4条 当会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 県民運動の推進方策の企画・立案及び推進に関すること
- (2) 県民運動関係団体との連携・支援に関すること
- (3) 地域活動員（ネットワーク）の委嘱及び活動促進に関すること
- (4) 生活学校・生活会議の育成に関すること
- (5) 県民運動に関する情報・資料の収集及び提供に関すること
- (6) 県民運動の奨励及び表彰に関すること
- (7) 県民運動の広報・啓発に関すること
- (8) 県民運動に関する調査研究に関すること
- (9) その他、目的達成に必要な事業

(役 員)

第5条 当会に次の役員を置く。

- (1) 理事長 1 名
- (2) 副理事長 若干名
- (3) 専務理事 1 名
- (4) 理 事 30名以内（理事長、副理事長及び専務理事を含む。）
- (5) 監 事 2 名

2 理事及び監事は総会で選任する。

3 理事長、副理事長及び専務理事は、理事会において互選する。

(役員の仕事)

第6条 理事長は、当会を代表し会務を総括する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 専務理事は、理事長及び副理事長を補佐し、当会の会務を処理する。

4 理事は、理事会を構成し、必要な事項を審議する。

5 監事は、会計その他の事務を監査する。

(役員の仕事)

第7条 役員の仕事は、2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠のため（定数の増加に伴う補充も含む。）選任された役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

(顧問及び参与)

第8条 当会に顧問及び参与を置くことができる。

- 2 顧問及び参与は、理事長が委嘱する。
- 3 顧問及び参与は、重要事項について理事長の諮問に応じる。

(アドバイザー)

第9条 当会にアドバイザーを置く。

- 2 アドバイザーは、理事長が委嘱する。
- 3 アドバイザーは、県民運動の推進方策の企画・立案に助言する。

(会 議)

第10条 当会の会議は、総会、理事会とする。

- 2 総会は、第3条に規定する団体等の代表者で構成し、理事長が招集する。
- 3 総会は、理事長が議長となり、次の事項を審議決定する。
 - (1) 規約の制定及び改廃に関する事
 - (2) 事業計画に関する事
 - (3) 予算及び決算に関する事
 - (4) 理事及び監事の選任に関する事
 - (5) その他重要事項に関する事
- 4 理事会は、理事長が招集して議長となり、次の事項を審議決定する。
 - (1) 総会への付託事項に関する事
 - (2) 団体等の入会に関する事
 - (3) 県民運動の推進方策に関する事
 - (4) 会務の執行に関する事
 - (5) その他必要と認められる事項に関する事
- 5 会議は、構成員（総会の場合は第3条に規定する団体等の代表者、理事会の場合は理事）の2分の1以上の出席をもって成立する。
- 6 会議の議事は、出席者の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 やむを得ない理由により会議に出席できない構成員は、他の構成員を代理人として表決を委任することができる。この場合、会議に出席したものとみなす。

(書面又は電磁的方法による審議)

第11条 理事長は、必要があると認めるときは、書面又は電磁的方法をもって理事の意見を求めて、理事会の議決に代えることができる。

- 2 理事長は、必要があると認めるときは、書面又は電磁的方法をもって第3条に規定する団体等の代表者の意見を求めて、総会の議決に代えることができる。

(理事長の専決)

第12条 理事長は、総会が招集されるいとまのない場合は、理事会に諮りこれを専決処分することができる。

- 2 理事長は、前項の規定により専決処分したときは、次の総会に報告しなければならない。

(グループの設置)

第13条 当会の事業を効果的かつ円滑に推進するためグループを置く。

- 2 グループにグループリーダーを置く。
- 3 グループに必要な事項は、理事会に諮って理事長が別に定める。

(グループリーダー・アドバイザー会議)

第14条 県民運動の推進方策の企画・立案及び推進のためグループリーダー・アドバイザー会議（以下 「グループリーダー会議」という。）を設ける。

2 グループリーダー会議に必要な事項は、理事会に諮って理事長が別に定める。

(個人会員)

第15条 当会の目的に賛同し、その活動に参加、協力する個人は、個人会員となることができる。

2 個人会員は、賛助会員とする。

3 その他必要な事項は、理事長が別に定める。

(会計)

第16条 当会の経費は、会費、補助金、委託金、共催金、賛助金、その他の収入をもって充てる。

2 団体等は、原則として年額一口1万円とする。

3 個人会員の賛助金は、原則として年額一口2千円とする。

4 当会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(事務局)

第17条 当会の事務を処理するため、当分の間、事務局を茨城県県民生活環境部女性活躍・県民協働課内に置く。

2 事務局の規程は、理事長が別に定める。

(その他)

第18条 この規約に定めるもののほか、当会の運営に関し必要な事項は、理事長が定める。

付 則

この規約は、平成30年5月29日から施行する。

付 則

この規約は、令和3年6月11日から施行する。

チャレンジいばらき県民運動 グループ設置要項

(設置の目的)

第1条 チャレンジいばらき県民運動の事業を効果的かつ円滑に推進するため、チャレンジいばらき県民運動規約（以下「規約」という。）第13条の規定に基づき、次のグループを置く。

- (1) 人財サポートグループ
- (2) 地域活動支援グループ
- (3) 魅力発見・発信グループ
- (4) I T活用グループ

(分掌事項)

第2条 グループの分掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 人財サポートグループ
 - ①次世代を担う人財づくりの運動に関する事。
 - ②豊かさを誇れる人財づくりの運動に関する事。
- (2) 地域活動支援グループ
 - ①共助による新しいコミュニティづくりの運動に関する事。
 - ②住み続けたいくなるまちづくりの運動に関する事。
- (3) 魅力発見・発信グループ
 - ①魅力発見・発信の運動に関する事。
 - ②I Tの普及に関する事。
- (4) I T活用グループ
 - ①I Tを活用した県民運動の検討に関する事。
 - ②各グループの横断的な支援に関する事。

(構成員)

第3条 グループ分掌事項実施のため県民活動推進員（以下「推進員」という。）を選任する。

- 2 推進員は、学識経験者、有識者、県民運動実践者及び行政に携わる者のうちから、理事会に諮って理事長が選任する。
- 3 推進員の人数は40名程度とする。
- 4 推進員は、原則として第2条のいずれかのグループに所属するものとする。

(推進員の任期)

第4条 推進員の任期は1期2年とし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため（定数の増加に伴う補充を含む）選任された推進員の任期は、前任者の残任期間とする。

(ゼネラルマネージャー)

第5条 各グループの調整役として、ゼネラルマネージャー（以下「GM」という。）を置くことができる。

- 2 GMは、推進員のうちから事務局長が選任する。
- 3 GMの任期は1年とし、再任を妨げない。

(グループの役員)

第6条 グループの役員として、グループリーダー（以下「リーダー」という。）及びサブリーダーを置く。

- 2 グループの役員は、各グループにおいて互選する。
- 3 リーダーは、グループを代表し、グループの会務を総括する。
- 4 サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるとき若しくはリーダーが欠けたときは、その職務を代行する。
- 5 各グループの役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(会 議)

第7条 グループ会議はリーダーが招集し、会議の議長となる。

(その他)

第8条 この要項に定めのあるもののほか、グループの運営に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

付 則

- 1 この要項は、平成30年7月3日から施行する。
- 2 旧県民運動推進委員の残任期間は、第4条の規定にかかわらず、これを引き継ぐものとする。

付 則

この要項は、令和2年3月24日から施行する。

チャレンジいばらき県民運動 グループリーダー・アドバイザー会議設置要項

(設置の目的)

第1条 県民運動の推進方策の企画・立案の及び推進のためグループリーダー・アドバイザー会議（以下「グループリーダー等会議」という。）を置く。

(構成員)

第2条 グループリーダー等会議の構成員は、チャレンジいばらき県民運動規約（以下「規約」という。）第9条に規定するアドバイザー及び規約第13条に規定するグループリーダーとする。

(会議)

第3条 グループリーダー等会議は、事務局長が招集し、会議の議長となる。

(その他)

第4条 この要項に定めのあるもののほか、グループリーダー等会議の運営に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

この要項は、平成30年7月3日から施行する。

チャレンジいばらき県民運動 会員名簿

令和 5 年 4 月 1 日現在

〔会員数総括表〕

区 分	会 員 数
市町村県民運動推進組織	4
県域団体	80
企 業	104
市町村会員	44
県	1
合 計	233

個人会員	210 人
------	-------

市町村推進組織（４）

1	小美玉市まちづくり組織連絡会
2	高萩市市民憲章推進協議会

3	土浦市まちづくり市民会議
4	水戸市住みよいまちづくり推進協議会

団体（80）

1	NPO法人アスク
2	「茨城アジア教育基金」を支える会
3	茨城空港利用促進等協議会
4	(一社)茨城県安全運転管理協会
5	(一社)茨城県医師会
6	(公社)茨城県栄養士会
7	(公財)茨城県開発公社
8	(公財)茨城県学校給食会
9	茨城県学校長会
10	(一社)茨城県環境管理協会
11	(一財)茨城県環境保全事業団
12	(公社)茨城県看護協会
13	(一社)茨城県経営者協会
14	(一財)茨城県建設技術公社
15	(一社)茨城県建築士会
16	(一社)茨城県建築士事務所協会
17	(一社)茨城県高圧ガス保安協会
18	(一財)茨城県交通安全協会
19	茨城県高等学校長協会
20	茨城県高等学校PTA連合会
21	(公財)茨城県国際交流協会
22	茨城県国民健康保険団体連合会
23	(公社)茨城県歯科医師会
24	茨城県自治会連合会
25	茨城県市長会・町村会
26	茨城県自動車販売店交通安全対策推進協議会
27	茨城県社会教育振興協議会
28	(社福)茨城県社会福祉協議会
29	茨城県商工会議所女性会連合会
30	茨城県商工会議所青年部連合会
31	茨城県商工会議所連合会
32	茨城県商工会女性部連合会
33	茨城県商工会青年部連合会
34	茨城県商工会連合会
35	茨城県少年団体連絡協議会
36	茨城県消費者団体連絡会
37	茨城県食生活改善推進員協議会
38	(公社)茨城県食品衛生協会
39	(公財)茨城県スポーツ協会
40	茨城県生活学校連絡会
41	茨城県生活協同組合連合会
42	(公社)茨城県青少年育成協会
43	茨城県青年団体連盟
44	(一社)茨城県造園建設業協会
45	茨城県女性団体連絡会
46	茨城県中小企業団体中央会
47	茨城県庁生活協同組合
48	茨城県土地改良事業団体連合会
49	茨城県農業協同組合中央会
50	茨城県農業法人協会

51	茨城県PTA連絡協議会
52	茨城県保育協議会
53	茨城県民間保育協議会
54	(公社)茨城県薬剤師会
55	茨城県幼少年婦人防火委員会
56	(公社)茨城県臨床検査技師会
57	(公財)茨城県老人クラブ連合会
58	いばらきコープ生活協同組合
59	茨城産業会議
60	茨城ダルク今日も一日ハウス
61	茨城文化団体連合
62	NPO法人エコグリーンいばらき
63	NPO法人エコレン
64	かいつむりの会
65	笠間稲荷神社
66	霞ヶ浦問題協議会
67	環境保全茨城県民会議
68	学校法人木村学園 石岡幼稚園
69	NPO法人障害者雇用促進協会
70	(社福)自立奉仕会
71	生活協同組合パルシステム茨城 栃木
72	生活支援ネットワーク・介護セブン
73	(社福)聖隷会 しらゆり保育園
74	鱸づな会
75	NPO法人日本スポーツ振興協会
76	(公社)日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会
77	ひたちなかユネスコ協会
78	NPO法人ひと・まちなつとわーく
79	(社福)芳香会
80	NPO法人ぼかぼかくらぶ

企業 (104)

1	(株)秋山工務店
2	(株)あけぼの印刷社
3	アサヒビール(株)茨城工場
4	イオンリテール(株)北関東カンパニー茨城事業部
5	(株)石川工業所
6	茨城いすゞ自動車(株)
7	茨城県信用組合
8	茨城ケント販売(株)
9	茨城工芸産業(株)
10	茨城交通(株)
11	(株)茨城新聞社
12	茨城水産(株)
13	茨城トヨタ自動車(株)
14	茨城トヨペット(株)
15	茨城日産自動車(株)
16	(株)茨城放送
17	(株)茨城ポートオーソリティ
18	(株)ウライ文具
19	ウルノ商事(株)
20	NTT東日本(株)茨城支店
21	(株)大塚製作所
22	大富印刷(株)
23	(株)笠間印刷所
24	鹿島都市開発(株)
25	鹿島埠頭(株)
26	鹿島臨海工業地帯企業連絡協議会
27	鹿島臨海鉄道(株)
28	(株)カスミ
29	株木建設(株)茨城本店
30	関東印刷(株)
31	(株)木内酒造1823
32	(株)きど印刷所
33	キリンビール(株)取手工場
34	(株)ケーズホールディングス
35	(株)鯉淵工業
36	(有)こうじゃ
37	(株)光和印刷
38	コスモ綜合建設(株)
39	(株)寿
40	(株)笹目宗兵衛商店
41	JX金属(株)
42	(株)しびっくばわー
43	(株)ジョイフル本店
44	(株)常陽銀行
45	常洋水産(株)
46	昭和建設(株)
47	鈴縫工業(株)
48	(医)青藍会 大場内科クリニック
49	(医)聖和会 つくば病院
50	(株)セイワ食品
51	関彰商事(株)
52	損害保険ジャパン(株)
53	(株)タイハイ
54	(株)高野高速印刷
55	(株)タナカ
56	(株)田中企画 水戸営業所
57	(株)月の井酒造店
58	(株)筑波学園ホテル
59	(株)筑波銀行
60	(株)つくば研究支援センター

61	(株)デベロ
62	東京海上日動火災保険(株)茨城自動車営業部営業部第1課
63	(有)東京総合染色
64	(株)東京電機
65	(有)トータルコミュニティサービス
66	(株)トビタ文具
67	トヨタL&F茨城(株)
68	(株)トヨタレンタリース茨城
69	(株)仲川建設
70	中川ヒューム管工業(株)
71	(株)奈良屋
72	(株)西山工務店
73	日東電気(株)
74	日東メンテナンス(株)
75	日本放送協会 水戸放送局
76	(株)日本クリエート茨城
77	日本原子力発電(株)東海事業本部地域共生部茨城事務所
78	日本たばこ産業(株)関東支社
79	(株)沼田機業
80	(株)ヌマタ商事
81	ネットトヨタ水戸(株)
82	ハタヤ商事(株)
83	(株)幡谷本店
84	(株)日立製作所
85	日立セメント(株)
86	(株)広沢本社
87	(株)フジタビジネスマシンズ
88	(株)富士菱
89	(株)双葉
90	(株)ヘレナメディアリサーチ
91	北越コーポレーション(株)関東工場
92	ホテルレイクビュー水戸
93	(株)水戸京成百貨店
94	水戸京成ホテル(株)
95	(有)水戸山翠商事
96	水戸自動車工業(株)
97	水戸信用金庫
98	水戸中央青果(株)
99	水戸ヤクルト販売(株)
100	(有)ミノワ印刷
101	明利酒類(株)
102	八幡印刷(株)水戸営業所
103	結城信用金庫
104	(株)竜ヶ崎自動車教習所

市町村 (44)

1	水戸市
2	日立市
3	土浦市
4	古河市
5	石岡市
6	結城市
7	龍ヶ崎市
8	下妻市
9	常総市
10	常陸太田市
11	高萩市
12	北茨城市
13	笠間市
14	取手市
15	牛久市
16	つくば市
17	ひたちなか市
18	鹿嶋市
19	潮来市
20	守谷市
21	常陸大宮市
22	那珂市

23	筑西市
24	坂東市
25	稲敷市
26	かすみがうら市
27	桜川市
28	神栖市
29	行方市
30	銚田市
31	つくばみらい市
32	小美玉市
33	茨城町
34	大洗町
35	城里町
36	東海村
37	大子町
38	美浦村
39	阿見町
40	河内町
41	八千代町
42	五霞町
43	境町
44	利根町

県 (1)

1	茨城県 (女性活躍・県民協働課)
---	------------------

チャレンジいばらき県民運動 アドバイザー名簿

令和 5 年 4 月 1 日現在

氏 名	所 属	分 野	備 考
1 川 崎 篤 之	株式会社いばらきスポーツタウン・マネジメント	地域活動支援	企業・大学との連携
2 菊 池 一 俊	一般社団法人カミスガプロジェクト	地域活動支援	企業・大学との連携
3 助 田 徹 臣	いばらき広報戦略アドバイザー	魅力発見・発信	広報スタイル
4 松 橋 裕 子	一般社団法人わくわく人生デザインラボ	地域活動支援	若い世代の参加促進
5 三ツ堀 裕 太	株式会社ユニキャスト	魅力発見・発信	I T活用
6 横須賀 聡 子	特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城	地域活動支援	新しい共助社会づくり
7 鷺 田 美 加	株式会社R I O N	地域活動支援	若い世代の参加促進

チャレンジいばらき県民運動 県民活動推進員名簿

令和5年4月1日現在

番号	氏名	所属等	期数	備考
1	荒原 恵子	延方生活学校	1期	
2	飯村 歳永	ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会	4期	
3	井川 健一	CoderDojo Mito	3期	
4	池田 智子	大子町ネットワーカー協議会	5期	
5	井坂 英二	小美玉ネット	4期	ゼネラルマネージャー
6	井坂 寛	茨城県生活協同組合連合会	2期	
7	石崎 重昭	常陸大宮市ネットワーカー協議会	2期	
8	石澤 成浩	守谷市ネットワーカー連絡協議会	1期	
9	大枝 久忍子	一般社団法人ガールスカウト茨城県連盟	2期	
10	大久保 昌義	茨城県ユースホステル協会	4期	
11	川上 正廣	那珂市ネットワーカー連絡協議会	5期	
12	菊地 寿代	チャレンジかさまネットワーカー連絡協議会	5期	
13	小坏 明美	水戸市地域女性団体連絡会	2期	
14	高野 サタコ	下妻生活学校	2期	
15	高野 照代	なめがたネットワーカー連絡協議会	1期	
16	高橋 正道	水戸市環境保全会議	5期	
17	寺内 義與	日本ボーイスカウト茨城県連盟	4期	
18	中野 肇男	特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく	1期	
19	中村 久子	取手生活学校	3期	
20	福原 千穂子	茨城町ネットワーカー等連絡協議会	5期	
21	吉川 勲	日本ボーイスカウト茨城県連盟	1期	

チャレンジいばらき県民運動 地域活動員設置要綱

(設 置)

第1条 県民運動を各地で広げ、地域の人たちのネットワークづくりに取り組み、住みよい茨城づくりを進めるため、地域活動員（以下「ネットワーカー」という。）を設置する。

(要 件)

第2条 ネットワーカーは、県民運動の理念に基づき、各種の県民運動に取り組むことができる者とする。

2 ネットワーカーは、市町村長からの推薦を受けた者とする。

(委 嘱)

第3条 ネットワーカーは、市町村長から推薦を受け、理事長が委嘱する。

2 委嘱期間は3年として、再任を妨げない。

3 理事長は、委嘱期間中であっても、ネットワーカーが不適任であると認めるときは、その委嘱を解くことがある。

(役 割)

第4条 ネットワーカーの役割は、次のとおりとする。

- (1) 県民運動の趣旨や情報を地域に発信すること
- (2) 県民運動に参加し、普及に努めること
- (3) 地域活動を実践し、普及に努めること
- (4) 地域活動の調整に努めること

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から適用する。

この要綱は、平成30年5月29日から施行する。

この要綱は、令和3年6月11日から施行する。

チャレンジいばらき県民運動 組織体系図

